

授 業 時 間 割 4 年 前 期

平成18年4月3日～平成18年9月22日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金			
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4
		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10		8:50 10:20	10:30 12:00	13:00 14:30	14:40 16:10
4	3	運動系	脳・神経系	腎・泌尿器系	消化器系	5	生殖系	運動系	医と社会	6	耳鼻咽喉口腔系	社会医学	脳・神経系	7	医学ゼミ (選択)	免疫・アレルギー 疾患系	生殖系	消化器系							
	10					11		12		13				14											
	17					18		19		20				21											
	24					25		26		27				28											
5	1	運動系	脳・神経系	腎・泌尿器系	消化器系	3	憲法記念日			4	国民の休日				5	こどもの日									
	8					9	10	生殖系	医と社会	11	耳鼻咽喉口腔系	社会医学	脳・神経系	12	医学ゼミ (選択)	免疫・アレルギー 疾患系	生殖系	消化器系							
	15					16	17	医と社会	18																
	22					23	24	生殖系	医と社会	25															
	29					30	31	開学記念日休業						1											
5	6	7	生殖系	医と社会	8	社会医学	脳・神経系	9	医学ゼミ (選択)	免疫・アレルギー 疾患系				生殖系					消化器系						
12	13	14			15			16																	
19	20	21			22			23																	
26	27	28			29			30																	
7	3	視覚系		視覚系	消化器系	5	生殖系	社会医学	医と社会	6	視覚系	社会医学	脳・神経系	7	医学ゼミ (選択)	免疫・アレルギー 疾患系	生殖系	消化器系							
	10	11	12			13																			
	17	海の日				18		試験期間						19					試験期間				20	試験期間	
24	試験期間				25	試験期間				26	試験期間				27	試験期間				28	試験期間				
8	31	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業	2	夏季休業	3	夏季休業	4	夏季休業	夏季休業	夏季休業	5	夏季休業	夏季休業	夏季休業	夏季休業							
	7					8		9		10				11											
	14					15		16		17				18											
	21					22		23		24				25											
	28					29		30		31				1											
9	4	試験期間	試験期間	試験期間	試験期間	6	試験期間	7	試験期間	8	試験期間	試験期間	試験期間	9	試験期間	試験期間	試験期間	試験期間							
	11					12		13		14				15											
	18					敬老の日		19		試験期間				20					試験期間				21	試験期間	

※試験期間：7月18日～7月28日・9月11日～9月22日

授 業 時 間 割 4 年 後 期

平成18年9月25日～平成19年3月31日

月	日	月				日	火				日	水				日	木				日	金			
		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4		1	2	3	4
		8:50 ∩ 10:20	10:30 ∩ 12:00	13:00 ∩ 14:30	14:40 ∩ 16:10		8:50 ∩ 10:20	10:30 ∩ 12:00	13:00 ∩ 14:30	14:40 ∩ 16:10		8:50 ∩ 10:20	10:30 ∩ 12:00	13:00 ∩ 14:30	14:40 ∩ 16:10		8:50 ∩ 10:20	10:30 ∩ 12:00	13:00 ∩ 14:30	14:40 ∩ 16:10		8:50 ∩ 10:20	10:30 ∩ 12:00	13:00 ∩ 14:30	14:40 ∩ 16:10
9	25	社会医学		精神系		26					27					28					29				
	2					3					4					5					6				
	9	体育の日				10					11					12					13	医ゼミ	放射線 医学	感染症系	
10	16					17	小児系		皮膚系		18					19	外科治療学		法医学系		20				
	23					24					25					26					27				
	30	社会医学		精神系		31					1					2					3	文化の日			
11	6					7					8	臨床検 査		診断学		9					10			創立記念講演会	
	13					14					15					16					17				
	20	長大祭に伴う休業日				21	長大祭に伴う休業日				22					23	勤労感謝の日				24				
	27	社会医学		精神系		28	小児系		皮膚系		29					30	外科治療学		法医学系		1	医ゼミ	放射線 医学	感染症系	
12	4	社会医学		精神系		5					6					7					8				
	11					12	社会医学		診断学		13					14					15				
	18	社会医学				19					20					21			精神系		22				
	25	冬季休業				26	冬季休業				27	冬季休業				28	冬季休業				29	冬季休業			
1	1					2					3					4					5				
	8	成人の日				9	社会医学		放射線		10	臨床検 査		診断学		11	外科治療学		外科治療学		12	医ゼミ	放射線	感染症系	
	15	社会医学				16					17					18					19				
	22	CBT本試験				23	CBT本試験				24					25	試験期間				26	試験期間			
	29	試験期間				30	試験期間				31					1	OSCE本試験				2	OSCE本試験			
2	5					6	試験期間				7					8					9	CBT追試験			
	12	建国記念の日の振替休日				13					14					15	試験期間				16	試験期間			
	19	退官教授記念講演会				20	退官教授記念講演会				21					22					23	OSCE再試験			
	26	CBT再試験				27	CBT再試験				28					1					2	試験期間			
3	5					6					7					8					9				
	12	春季休業				13	春季休業				14	春季休業				15	春季休業				16	春季休業			
	19					20					21					22					23				
	26					27					28					29					30				

※試験期間：1月22日～2月9日（後期本試験）
2月13日～3月2日（後期再試験）

医 と 社 会

責任者 小 澤 寛 樹
精神神経学 (精神病態制御学)
内線 : 2865 E-mail : ozawa07@net.

1. 教育目標・方針

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。また大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても講義する。

またコア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。

臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を住した上での医事法制を学ぶ。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少なくない。必要に応じて各講義で紹介する。

4. 評価法

レポート、出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。

5. 教員名

精神科 : 中根秀之

第二内科 : 早田 宏

原研内科 : 朝長万左男

医療情報部 : 本多正幸

解剖学 I : 森 望

非常勤 : 森 俊介 (独立行政法人国立病院機構 長崎病院)

非常勤 : 児島達美 (長崎純心大学人文学部教授)

非常勤 : 永田耕司 (活水女子大学教授)

非常勤 : 浅野直人 (福岡大学法学部長)

非常勤 : 早島 理 (滋賀医科大学教授、哲学倫理学)

非常勤 : 向原茂明 (長崎県立島原病院院長)

非常勤 : 池内 了 (早稲田大学総合科学部)

非常勤 : 久間圭子 (シーボルト大学看護学部教授)

医と社会授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教官	教室
4	5	水	4	がん患者の心のケア	精神科・中根	臨1
4	12	水	4	地域医療とターミナルケア（保健学科と共修）	非常勤・森	臨大
4	19	水	4	がん患者へのインフォームドコンセント	非常勤・永田	臨大
4	26	水	4	がん患者への接し方の実際	第2内科・早田	臨1
5	10	水	4	大学病院におけるターミナルケア	原研内科・朝長	臨1
5	17	水	1	がん患者と家族	非常勤・児島	臨1
5	24	水	4	医療リスクマネジメント	非常勤・向原	臨1
6	7	水	4	医療情報におけるITと安全管理	医療情報部・本多	第2
6	14	水	4	医事法制	非常勤・浅野	臨1
6	21	水	4	死生学	非常勤・早島	第2
6	28	水	4	長寿科学と高齢者医療	第1解剖・森	臨1
7	5	水	4	医療の比較文化論（歯学部と共修）	非常勤・久間	臨大
7	12	水	4	医療と科学、人間（歯学部と共修）	非常勤・池内	臨大

脳 ・ 神 経 系

責任者 中 村 龍 文
感染分子病態学（病態生理制御学）
内線：2806 E-mail:tatsu@net.

1. 教育目標・方針

人間の脳・神経系は巧みに構築された高次構造・ネットワークによって機能している。神経疾患は、種々の原因（先天異常・遺伝子異常・感染症・炎症・外傷・血管障害・腫瘍・脱髄・変性・免疫異常など）に基づいたこれらの異常によって生じてくる。脳・神経系は中枢神経・末梢神経・神経筋接合部・筋に分けられるが、それらの場において、多種多彩な病因・病態が存在する。脳・神経系の教育目標・方針は、神経学に必要な基礎的領域をもとに、神経疾患をSystematicに学ぶことにある。

2. 授業内容（講義・実習項目）

全57時間のうち、神経内科学24、脳神経外科学15、小児神経学9、整形外科6、精神神経学3時間から、構成されている。まず、神経学総論は、解剖学・生理学などの基礎的知識をもとに全ての神経系を網羅し、主として神経内科学が担当して行われる。加えて小児神経学の立場から、発達神経学の基礎知識の修得、精神神経学より知能についての講義が行われる。更に、神経診断学を含めた神経学的検査法が、神経内科学、脳神経外科学的立場より講義される。神経学各論では、個々の機能的、器質的疾患に関して、神経内科、脳神経外科、小児神経、整形外科、精神神経科学的領域よりそれぞれ講義される。

3. 教科書、参考書等

必要に応じてプリントを配布する。

書 名	著 者	出版社	定 価
★神経内科学	第一内科神経グループ		1,000 円
★Pediatric Neurology	Swaiman	Mosby	
★標準整形外科学	広畑和志他	医学書院	8,700 円
★ニュースタANDARD 脳神経外科学	生塩之敬, 種子田護, 山田和雄	三輪書店	7,350 円

4. 評価法

筆記試験。

5. 教員名

感染分子病態学・病態生理制御学：中村龍文
第一内科：本村政勝、吉村俊朗（保健学科）、辻畑光宏（非常勤講師）
脳神経外科：堤 圭介、北川直毅、松尾孝之、牛島隆二郎、馬場啓至（非常勤講師）
小児科：森内浩幸、津留 陽、松坂哲應（非常勤講師）
整形外科：衛藤正雄
精神神経科：小澤寛樹、今村 明

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	月	3	神経学総論	神経系の構成・神経病の診断 大脳半球の機能局在・高次機能	保健学科・吉村	臨1
			4	神経学総論	間脳、脳神経、脳幹		
4	6	木	4	神経学総論	小脳の機能と障害 脊髄機能・運動麻痺・歩行障害	保健学科・吉村	臨1
4	10	月	3	神経学総論/神経学的検査	大脳基底核と錐体路、感覚障害意識障害・髄膜刺激症状・脳圧亢進症状 神経学的検査	保健学科・吉村	臨1
			4	知能低下	知能の定義・測定法・因子構成 知能低下の諸様相		
4	13	木	4	小児発達総論	神経系の発達と精神運動機能 小児神経学的診察法	小児科・津留	臨1
4	17	月	3	急性脳症及びその類縁疾患/先天異常・発育異常	急性脳炎, 脳症の診断治療 脳形成異常, 神経皮膚症候群	小児科・津留	臨1
			4	代謝異常による神経疾患	リソゾーム病 アミノ酸, 有機酸代謝異常		
4	20	木	4	代謝異常による神経疾患	含水炭素, その他の代謝性疾患	小児科・津留	臨1
4	24	月	3	神経学的検査/先天異常・発育障害	神経学的検査 水頭症 その他	脳外科・牛島	臨1
			4	脳血管障害	脳血管疾患総論・脳血管疾患病態生理		
4	27	木	4	脳血管障害	画像診断・脳血管疾患各論	非常勤・辻畑	臨1
5	1	月	3	脳血管障害	虚血性脳血管障害	脳外科・堤	臨1
			4	脳血管障害	出血性脳血管障害 (I)		
5	8	月	3	脳血管障害	出血性脳血管障害 (II)	脳外科・堤	臨1
			4	頭部外傷	急性期頭部外傷 (I) ・ (II)		
5	11	木	4	頭部外傷	急性期頭部外傷 (III) ・ 頭部外傷合併症	脳外科・北川	臨1
5	15	月	3	脳腫瘍	脳腫瘍総論	脳外科・松尾	臨1
			4	脳腫瘍	脳腫瘍各論 (I) ・ (II) ・ (III) ・ (IV)		

脳・神経系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	18	木	4	脳腫瘍	治療（ライナック・ラジオサージェリー）	脳外科・松尾	臨1
5	22	月	3	変性疾患	変性疾患総論	第一内科・本村	臨1
			4	変性疾患	大脳の変性疾患 小脳の変性疾患		
5	25	木	4	変性疾患/中毒	脊髄の変性疾患 農薬 重金属 有機溶媒 薬剤等による中毒	第一内科・本村	臨1
5	29	月	3	てんかん(a)	てんかんおよびてんかん症候群分類	非常勤・松坂	臨1
			4	てんかん(b)	小児てんかんの診断治療	非常勤・松坂	
6	1	木	4	てんかん(c)	遅発性（非小児期）発症てんかん てんかんと精神症状	精神科・今村	臨1
6	5	月	3	てんかん(d)	てんかんの外科的治療	非常勤・馬場	臨1
			4	感染症疾患	ウイルス性疾患	感染分子・中村	
6	8	木	4	感染症疾患	細菌性疾患 その他の感染症	感染分子・中村	臨1
6	12	月	3	脱髄性疾患	脱髄性疾患総論	感染分子・中村	臨1
			4	脱髄性疾患/内科疾患に伴う神経疾患/頭痛/自律神経の疾患	脱髄の病態生理 脱髄性疾患各論 内科疾患に伴う神経疾患頭痛分類 病態生理 頭痛各論 神経痛 自律神経の疾患総論、各論		
6	15	木	4	ミオパチー	ミオパチーの病態生理 電気生理学 ミオパチー疾患 各論	保健学科・吉村	臨1
6	19	月	3	神経筋接合部疾患	神経筋接合部構造と機能 電気生理学 各論	非常勤・辻畑	臨1
			4	末梢神経(a)	末梢神経障害の病態生理 電気生理学 末梢神経疾患 各論	保健学科・吉村	
6	22	木	4	脊椎・脊髄疾患	脊髄の生理・解剖	整形外科・衛藤	臨1
6	29	木	4	脊椎・脊髄疾患	頸椎, 頸髄疾患 胸椎, 胸髄疾患	整形外科・衛藤	臨1
7	6	木	4	脊椎・脊髄疾患	筋疾患, 麻痺性疾患の診断と治療 末梢神経の解剖, 生理とその診断治療	整形外科・衛藤	臨1
7	13	木	4	筋疾患・麻痺性疾患/末梢神経(b)	腰椎疾患	整形外科・衛藤	臨1

運 動 系

責任者 進 藤 裕 幸
整形外科学 (構造病態整形外科学)
内線：2940 E-mail:shindo@net.

1. 教育目標・方針

運動器系に発生するさまざまな疾患を理解し、正常な機能が損なわれた場合の障害とそれに対する治療法を把握する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

主にプリントとスライドによる講義であるが、時に講義室での実習も行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準整形外科学	寺山和雄、広畑和志	医学書院	8,755 円
整形外科サブノート	東 博彦	南江堂	5,500 円

4. 評価法

筆記試験

5. 教員名

整形外科：進藤裕幸、松本智子、衛藤正雄、弦本敏行、熊谷謙治、榎本寛、馬場秀夫、
岡野邦彦、米倉暁彦
形成外科：平野明喜、安楽邦明
保健学科：松坂誠應

運動系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	3	月	1	整形外科総論	概論、歴史	整形・進藤	臨1
			2		診断学		
4	5	水	3	骨・軟骨の生理	骨・軟骨の生理と代謝異常	整形・松本	臨1
4	10	月	1	骨軟部腫瘍（1）	診断学	整形・熊谷	臨1
			2	骨関節の外傷（1）	下肢の外傷	整形・弦本	
4	12	水	3	骨関節の外傷（2）	上肢の外傷	整形・衛藤	臨1
4	17	月	1	骨軟部腫瘍（2）	良性腫瘍	整形・熊谷	臨1
			2		悪性腫瘍		
4	24	月	1	上肢疾患	肩	整形・衛藤	臨1
			2		肘、手		
5	1	月	1	脊椎（1）	総論	整形・馬場	臨1
			2		外傷		
5	8	月	1	脊椎（2）	各論（1）	整形・馬場	臨1
			2		各論（2）		
5	15	月	1	下肢疾患（1）	股関節（小児）	整形・榎本	臨1
			2		股関節（成人）	整形・岡野	
5	22	月	1	下肢疾患（2）	膝・足	整形・米倉	臨1
			2	感染症	骨・関節の感染	整形・弦本	
5	29	月	1	炎症性疾患	関節リウマチ	整形・松本	臨1
			2		リウマチ類縁疾患		
6	5	月	1	形成外科	顔面外傷	形成・平野	臨1
			2		手の外傷	形成・安楽	
6	12	月	1	リハビリ（1）	リハビリ（総論）	保健学科・松坂	臨1
			2				
6	19	月	1	リハビリ（2）	リハビリ（各論）	保健学科・松坂	臨1
			2				

消化器系

責任者 関根一郎
原研病理（分子病態解析学）
内線：2330 E-mail

1. 教育目標・方針

消化器系は口腔・唾液腺に始まり、食道・胃・小腸・結腸・直腸・肛門に至る消化管系と肝臓、胆嚢、胆管、膵臓よりなる肝胆膵系に大別される。消化器の病理、症状、検査、内科的消化器疾患、外科的消化器疾患、手術法などを統合包括的に把握し、消化器疾患における基礎的、臨床的な基本的知識を理解、修得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

消化器系を消化管系と肝胆膵系に大別し、それぞれを病理学、内科学、外科学の順に講義を進行させる。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
1. 消化器病（胃・腸・食道） 分子カギから病態・診断・治療まで	菅野健太郎 日比紀文 星原芳雄	編 羊土社	6,700 円
2. 図説病態内科講座 消化管 2	矢崎義雄	編 Medical View	22,000 円
3. 消化器内視鏡診断テキスト 第1巻：食道・胃・十二指腸 第2巻：小腸・大腸	竹本忠良 長廻 紘	編 文光堂	6,500 円 6,500 円
4. 外科病理学 第2版	石川栄世 牛島 宥 遠城寺宗知	編 文光堂	28,000 円
5. 内科学書（全2冊）	島田 馨	編 中山書店	25,000 円

4. 評価法

試験は筆答試験と病理実習試験をもって行う。筆答試験は病理、内科、外科がそれぞれの担当時間数に応じて配分された点数をもって出題する。各科目の総点を1000点とし、最終的に100点として評価を行う。

5. 教員名

原研病理：関根
第一内科：浜崎、中尾、市川
第二内科：水田、大曲
光学医療診療部：牧山、宿輪
第一外科：安武、七島
第二外科：兼松
熱帯医学研究所：鳥山 寛、平山壽哉
保健管理センター：中尾一彦
非常勤講師：大槻 眞、今西建夫

消化器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	火	3	癌取扱い規約	食道・胃	原病・関根	臨1
			4	上部消化管－症候	腹痛など	内2・水田	
4	7	金	4	上部消化管－構造機能	食道・胃	内2・水田	臨1
4	11	火	3	消化管ホルモン	種類、分泌、作用、制御、ホルモン産制性腫瘍、胃酸分泌機構など	光学・宿輪	臨1
			4	食道疾患	先天異常、憩室、炎症、腫瘍性疾患など		
4	14	金	4	ヘリコバクターピロリ	HPと胃炎、潰瘍（特別講義）	熱病・平山	臨1
4	18	火	3	上部消化管診断法、胃疾患	X線・内視鏡検査、潰瘍、胃炎など	内2・水田	臨1
			4	胃疾患	腫瘍性病変、ポリープ、憩室、感染性疾患など		
4	19	水	3	胃疾患、十二指腸疾患	潰瘍、腫瘍、炎症など	内2・水田	臨1
4	21	金	4	下部消化管 - 構造・機能	小腸、大腸、先天性異常など	光学・牧山	臨1
4	25	火	3	下部消化管 - 機能、症候論	消化吸収機構、下血、便通異常、脂肪便など	光学・牧山	臨1
			4	小腸疾患	炎症、腫瘍、Meckel憩室など		
4	26	水	3	下部消化管 - 機能異常	消化吸収異常、蛋白漏出性胃腸症、IBSなど	光学・牧山	臨1
4	28	金	4	下部消化管疾患 - 診断法	X線検査、内視鏡検査、内視鏡治療	光学・牧山	臨1
5	2	火	3	大腸疾患	炎症性腸疾患（IBD）、虚血性腸炎、腸型ベッチェット病など	光学・牧山	臨1
			4		感染性腸炎、憩室放射線照射性腸炎、MPSなど		
5	9	火	3	大腸疾患	ポリープ、ポリポーシス、癌、カルチノイド腫瘍など	光学・牧山	臨1
			4				
5	12	金	4	全身疾患と消化管	SLE、アミロイドーシス、膠原病など	光学・牧山	臨1
5	16	火	3	消化管（外科的疾患）	概念と疾患群など	外2・兼松	臨1
			4	食道・胃・十二指腸手術術式	食道損傷など 食道		
5	19	金	4	食道・胃・十二指腸手術術式	胃・十二指腸	外2・兼松	臨1
5	23	火	3	腸管外科的疾患	小腸・大腸 先天異常	外2・兼松	臨1
			4	腹壁疾患 直腸・肛門の疾患	外傷など		

消化器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
5	26	金	4	癌取り扱い規約	大腸	原病・関根	臨1
5	30	火	3	肝	正常組織・生理機能・先天異常など	内1・中尾	臨1
			4		病態生理		
6	2	金	4	肝	検査	内1・中尾	臨1
6	6	火	3	肝	代謝性疾患など	内1・浜崎	臨1
			4		肝炎など		
6	9	金	4	肝	主要症候	内1・市川	臨1
6	13	火	3	肝	良性腫瘍など	小江原中央・今西	臨1
			4		膿瘍 寄生虫など		
6	16	金	4	肝	肝硬変症	内1・浜崎	臨1
6	20	火	3	病理の要点	肝胆膵	熱病・鳥山	臨1
			4	肝	肝癌など	内1・浜崎	
6	23	金	4	膵	膵臓など	内2・水田	臨1
6	27	火	3	膵	膵炎・膵癌など（特別講義）	産業・大槻	臨1
			4	胆道疾患	炎症・結石	内2・水田	
6	30	金	4	胆道・膵疾患 胆嚢	胆石・胆道癌 胆嚢、胆道、膵炎、膵癌	内2・水田	臨1
7	4	火	3	主要症候と検査－胆膵疾患	黄疸など	内2・大曲	臨1
			4	外科的疾患	肝	外1・七島	
7	7	金	4	外科的疾患	膵臓の手術術式など	外1・安武	臨1
7	11	火	3	外科的疾患	肝・胆道系	外1・七島	臨1
			4		胆道系		
7	14	金	4	膵	内分泌腫瘍	外1・安武	臨1

腎 泌 尿 器 系

責任者 金 武 洋
腎泌尿器病態学 (泌尿器科学)
内線 : 2980 E-mail: hk1853@net.

1. 教育目標・方針

この系では腎および尿路系の疾患の病因、病態を正確に把握し、疾患の臨床像、診断や治療法の基本を正しく理解することを目標とする。腎・尿路の構造と機能の正しい理解が、疾患を学習する上で必要であり、その知識の上で始めて、腎・泌尿器系の特殊な病態の理解が可能となる。各種の疾患や病態について、解剖、生理、病理的背景を踏まえて臨床的事項の基本を学習する。上級学年の講義や病棟実習で更に幅広い知識を修得するための基本的知識を、この系で確実に身につける努力をして欲しい。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

毎週火曜日の午前中に講義する。まず、腎の解剖、生理について、腎疾患を学ぶ上で特に大切な点を総括し、その上で、臨床系の講義ではまず内科的疾患、小児的疾患、それから泌尿器科的疾患を講義する。

この系で学ぶ主要な項目は、腎不全、糸球体疾患、ネフローゼ症候群、尿細管間質病変、高血圧や血管に関連した病変、全身性疾患の標的臓器としての腎病変、小児の腎疾患の特徴、更に、腎の泌尿器科的疾患や尿管、膀胱などの尿路系の疾患等である。時間の関係で、系の中で講義できない事項もあるが、それらについては自ら学習する態度が望まれる。また、重複する項目がないように配慮されるが、重要な点については各科の立場から反復して講義され、理解を深めるようにした。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
エッセンシャル腎臓内科学	富野康日己 編	医歯薬出版	5,000 円
ダイナミックメディシン6巻	下条文武・斉藤康	西村書店	3,800 円
新泌尿器科学 (第4版)	内藤誠二 編	南山堂	8,700 円
Renal disease: classification and atlas of glomerular disease.	Churg/Bernstain/ Glassock	IGAKU/SHOIN	23,900 円
研修医のための小児腎疾患の臨床	五十嵐隆 著	診断と治療社	5,800円
図解腎臓内科学テキスト	富野康日己 編	中外医学社	7600円

4. 評価法

前期末の講義終了後に、筆記試験を行う。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40%に満たないときには不合格となることもある。

5. 教員名

内臓機能生理学 (第1生理) : 相川忠臣
病態生理制御学 (第2内科) : 古巢 朗、宮崎正信 (非常勤講師)
田浦幸一 (非常勤講師)
血液浄化療法部 : 原田孝司
感染病態制御学 (小児科) : 森内浩幸 救急部 : 中嶋一寿
腎泌尿器病態学 (泌尿器科) : 野俣浩一郎、錦戸雅春、野口 満
古賀成彦 (非常勤講師)

腎泌尿器系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	4	火	1	腎臓と体液	腎臓の機能	生理1 相川	臨1
			2		電解質代謝と腎臓		
4	11	火	1	内科的腎疾患	臨床総論；腎疾患の主要症候	血液浄化・原田	臨1
			2		腎間質障害・循環障害・感染	内科2・古巣	
4	18	火	1	内科的腎疾患	糸球体腎炎	内科2・古巣	臨1
			2		糸球体腎炎		
4	25	火	1	内科的腎疾患	ネフローゼ症候群（含2次性腎症）	非常勤・田浦	臨1
			2		ネフローゼ症候群（含2次性腎症）		
5	2	火	1	内科的腎疾患	腎不全	血液浄化・原田	臨1
			2		腎不全		
5	9	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（検尿異常）	非常勤・宮崎	臨1
			2		腎疾患のとらえかた（腎機能障害）		
5	16	火	1	内科的腎疾患	腎疾患のとらえかた（恒常性の破綻）	内科2・古巣	臨1
			2	泌尿器科疾患	泌尿器科総論（1）	泌尿器科・野俣	
5	23	火	1	小児の腎疾患	先天性腎疾患、先天性尿細管疾患	小児科 森内（中嶋）	臨1
			2		腎尿路奇形、後天性腎疾患、腎不全		
5	30	火	1	泌尿器科疾患	泌尿器科総論（2）	非常勤・古賀	臨1
			2		腎腫瘍、外傷		
6	6	火	1	泌尿器科疾患	腎血管性病変、急性腎不全	泌尿器科・錦戸	臨1
			2		腎移植		
6	13	火	1	泌尿器科疾患	膀胱疾患・尿路上皮腫瘍	泌尿器科・野俣	臨1
			2		尿路結石		
6	20	火	1	泌尿器科疾患	排尿障害（1）	泌尿器科・野口	臨1
			2		排尿障害（2）		
6	27	火	1	泌尿器科疾患	小児泌尿器疾患	泌尿器科・野口	臨1
			2		炎症・その他	泌尿器科・野俣	

生殖系

責任者
生殖病態生理学（産婦人科）
内線：3060 E-mail：

1. 教育目標・方針

男女性器の発生およびそれぞれの生理・病理を理解させ、さらに受精・着床から出生までの生理・病理を系統立てて講義する。このために男性性器の基礎と臨床ならびに女性性器の基礎と臨床を組合せ、同じ流れの中で基礎系と臨床系の講義担当教室が相互に連絡し、情報を交換しながら適切な内容の講義を行う。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義時間は60時間（40コマ）であり、その内訳は、第三解剖1. 5時間（1コマ）、泌尿器科4. 5時間（3コマ）および産婦人科5. 4時間（3. 6コマ）である。

3. 教科書、参考書等

	著者	出版社	定価
ムーア人体発生学	Moore, Persaud	医歯薬出版	9,500 円
臨床人体発生学	岡本直正	南江堂	9,800 円
新泌尿器科学	内藤誠二	南山堂	8,700 円
NEW産婦人科学	矢嶋 聡 他編	南江堂	9,500 円
臨床産科超音波診断	増崎英明	メディカ出版	4,700 円
産婦人科病理学診断図譜	宮地 徹 他編	杏林書院	25,000 円
婦人科細胞診の実際	柏村正道 編著	永井書店	10,000 円

4. 評価法

評価は基礎系ならびに臨床系の講義担当が出題し採点を行い、その結果を持ちより、第三解剖、泌尿器科および産婦人科の3担当講座の協議により、総計100点に換算して評価する。

5. 教員名

第三解剖：小路武彦
泌尿器科：酒井英樹、江口二郎
産婦人科：増崎英明、中山大介、小寺宏平、森山伸吾、中山大介、井上統夫、平木宏一、三浦清徳、吉田 敦、北島道夫、
保健学科：中島久良
非常勤講師：村上 誠（佐世保市立総合病院）
一瀬俊介（国立病院機構 嬉野医療センター）
安日一郎（国立病院機構 長崎医療センター）
藤下 晃（長崎市立市民病院）
福田久信（健康保険 諫早総合病院）

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	5	水	1	発生と解剖・性分化異常	性分化異常	解剖3・小路	臨1
			2	生殖系オリエンテーション	生殖系授業のはじめに.	産婦人科・増崎	臨1
4	7	金	3	女性生殖器の形態, 婦人科診察法	外性器および内性器の解剖・生理, 婦人科診察法・検査法	産婦人科・中山	臨1
4	12	水	1	妊娠の生理(1)	妊娠の成立, 妊娠の維持機構	非常勤・安日	臨1
			2	妊娠の生理(2)	胎児・胎盤系の生理, 妊娠による母体の変化		
4	14	金	3	産科的検査法(1)	妊娠初期・中期の検査	産婦人科・平木・増崎	臨1
4	19	水	1	男性生殖器の疾患(1)	前立腺癌, 前立腺肥大症	泌尿器科・酒井	臨1
			2	男性生殖器の疾患(2)	精巣腫瘍, 陰茎腫瘍		
4	21	金	3	胎児の生理(1)	胎児の発生・発育・成熟	産婦人科・増崎	臨1
4	26	水	1	性分化異常, 男性不妊症	診断および治療	泌尿器科・江口	臨1
			2	妊娠初期の異常	妊娠悪阻, 流産, 子宮外妊娠	非常勤・藤下	臨1
4	28	金	3	胎児の生理(2)	胎児異常	産婦人科・増崎	臨1
5	10	水	1	分娩の生理(1)	分娩の3要素, 正常分娩の経過	産婦人科・井上・増崎	臨1
			2	分娩の生理(2)	分娩の監視法, 産婦の取り扱い(分娩介助法)		
5	12	金	3	産科的検査法(2)	妊娠末期の検査, CTGの読み方	産婦人科・平木・増崎	臨1
5	17	水	2	異常妊娠(1)	妊娠中毒症, 子癇	産婦人科・平木・増崎	臨1
			4	異常妊娠(2)	前置胎盤, 常位胎盤早期剥離	産婦人科・三浦	臨1
5	19	金	3	異常妊娠(3)	多胎妊娠	産婦人科・増崎	臨1
5	24	水	1	異常妊娠(4)	羊水異常, IUGR・LGA, 過期妊娠	産婦人科・北島・増崎	臨1
			2	合併症妊娠の取り扱い(1)	血液型不適合妊娠, 心・腎・血液・肝疾患	産婦人科・吉田・増崎	臨1
5	26	金	3	合併症妊娠の取り扱い(2)	周産期感染症(GBS, TORCH等)	産婦人科・吉田・増崎	臨1
6	2	金	3	異常妊娠(5)	切迫早産・早産, 前期破水	非常勤・福田	臨1

生殖系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	7	水	1	合併症妊娠の取り扱い(3)	呼吸器・内分泌・代謝・自己免疫疾患	産婦人科・井上・増崎	臨1
			2	異常分娩(1)	陣痛・産道・胎児の異常による難産	産婦人科・吉田・増崎	臨1
6	9	金	3	異常分娩(2)	産科ショック, 羊水塞栓症, DIC	産婦人科・三浦	臨1
6	14	水	1	異常分娩(3)	胎児仮死, 非適時破水, 胎盤・臍帯の異常	産婦人科・三浦	臨1
			2	産褥の管理・新生児の管理	正常産褥・異常産褥, 新生児の一般管理	産婦人科・中山	臨1
6	16	金	3	異常分娩(4)	分娩時異常出血, 子宮破裂, 子宮内反症	非常勤・福田	臨1
6	21	水	1	無月経、更年期障害	月経異常、更年期障害、避妊など	非常勤	臨1
			2	性の分化・発育・成熟の異常	副腎性器症候群, 精巣性女性化症, 性腺欠如, Turner症候群, 早発思春期・遅発思春期	非常勤・一瀬	臨1
6	23	金	3	生殖器の形態・位置異常, 生殖器の損傷	外性器異常, 子宮下垂・子宮脱, 生殖器の損傷および瘻	産婦人科・小寺・増崎	臨1
6	28	水	1	感染症	外陰炎, バルトリン腺炎, 膣炎, 頸管炎, 子宮内膜炎, 付属器炎, 性感染症	産婦人科・森山	臨1
			2	生殖器良性疾患	子宮筋腫, 子宮腺筋症, 子宮内膜症	非常勤・藤下	臨1
6	30	金	3	不妊症・不育症	定義, 分類, 病因, 診断, 治療, 予後	非常勤・藤下	臨1
7	5	水	1	子宮頸癌・子宮頸部異形成	疫学, 病理, 進行期, 診断, 治療, 予後	保健学科・中島	臨1
			2	外陰・膣の腫瘍	外陰の類腫瘍・腫瘍, 膣の類腫瘍・腫瘍類	非常勤・村上	臨1
7	7	金	3	絨毛性疾患	定義, 分類, 症状, 検査, 診断, 治療, 予後	産婦人科・小寺・増崎	臨1
7	12	水	1	子宮体部悪性腫瘍(体癌, 肉腫)	疫学, 病理, 進行期, 診断, 治療, 予後	産婦人科・小寺・増崎	臨1
			2	卵巣腫瘍・良性卵巣腫瘍	腫瘍性病変, 診断, 分類, 治療	産婦人科・森山・増崎	臨1
7	14	金	3	卵巣腫瘍(境界悪性・悪性)	疫学, 分類, 症状, 診断, 進行期, 治療, 予後		

視 覚 系

責任者 北 岡 隆
眼科学 (眼科・視覚科学)
内線：3000 E-mail: tkitaoka@net.

1. 教育目標・方針

外界からの情報の80%以上は視覚を通して入力される。この視覚を得るための眼球他の構造と機能を学習し、さらにその視覚を脅かす疾患について理解させる。また眼科独自の検査についても習得させる。全身疾患で眼に症状を引き起こすものも多く、その関連についても学習する。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

基礎医学の知識を駆使して、眼科学を体系づけ、他臓器疾患との関連性をも理解させる。思考過程を重視し、考える講義にする。実習では講義で学んだ事項を身をもって体験させ、単なる知識の修得に終わらせないようにする。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
General Ophthalmology. 16th Ed.	Vaughan, Asbury, Tabbara	Appleton & Lange San Mateo, CA	
Ophthalmology: Principles and Concepts 8th Ed.	Newell, F. W.	Mosby	
Adler's Physiology of the Eye. Clinical Application 10th Ed.	Hart, W. M.	Mosby	

4. 評価法

講義については筆答試験を行い、60点以上を合格とする。眼科学の基礎的事項の理解度とこれに基づいた思考力を評価する。

5. 教員名

眼 科 学：北岡 隆、三島一晃、隈上武志、山田浩喜、岸川泰宏
非常勤講師：山之内宏一 (思案橋ツダ眼科)、麻生順子 (三菱病院)、
今村直樹 (南長崎ツダ眼科)、宮村紀毅 (国立病院長崎医療センター)

視覚系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
6	26	月	1	眼科総論	眼の構造・機能	眼科・北岡	臨1
			2	眼科総論	眼科検査Ⅰ	眼科・北岡	臨1
			3	眼科総論	眼科検査Ⅱ	眼科・北岡	臨1
			4	前眼部	眼瞼・結膜・涙道	非常勤・宮村	臨1
6	29	木	1	前眼部	角膜・涙液	非常勤・今村	臨1
			2	中間透光体	水晶体	眼科・岸川	臨1
7	3	月	1	発生	発生・奇形	眼科・山田	臨1
			2	網膜	網膜疾患Ⅰ	眼科・北岡	臨1
			3	ぶどう膜	ぶどう膜炎	眼科・三島	臨1
			4	眼底	網膜循環障害	眼科・隈上	臨1
7	4	火	1	眼科総論	眼科症候学	非常勤・麻生	臨1
			2	網膜	網膜疾患Ⅱ	眼科・三島	臨1
7	6	木	1	眼底	黄斑疾患	眼科・北岡	臨1
			2	全身疾患と眼	糖尿病網膜症	眼科・隈上	臨1
7	10	月	1	遺伝	全身疾患・遺伝と眼疾患	眼科・山田	臨1
			2	リハビリテーション	ロービジョンケア	非常勤・山之内	臨1
			3	緑内障	緑内障Ⅰ	眼科・隈上	臨1
			4	緑内障	緑内障Ⅱ	眼科・隈上	臨1
7	11	火	1	発達・眼位	斜視・弱視	眼科・岸川	臨1
			2	救急	眼科救急と外傷	眼科・山田	臨1
7	13	木	1	眼窩・神経眼科	眼窩・神経眼科Ⅰ	眼科・三島	臨1
			2	神経眼科	神経眼科Ⅱ	眼科・三島	臨1

耳 鼻 咽 喉 口 腔 系

責任者 高 橋 晴 雄
耳鼻咽喉科学（耳鼻咽喉病態制御学）
内線：3023 E-mail: htak0831@net.

1. 教育目標・方針

感覚器を中心とした耳鼻咽喉科領域の基礎を学び、検査、診断、治療法を理解し、検査法については実習し修得する。また救急処置の基本を学び、併せて全身ないしは環境と耳鼻咽喉科領域の関連について学習をする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義は4年次前期より始まる。耳科学・鼻科学・口腔咽頭科学・喉頭科学・気管食道科学・頭頸部外科学・救急医学に分類される。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	神崎 仁 他	南江堂	8,500円
新耳鼻咽喉科学	切替一郎、野村恭也	南江堂	16,000円
New 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	喜多村健、森山 寛	南江堂	6,000円
標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	鈴木淳一 他	医学書院	8,000円

4. 評価法

講義内容については筆記試験にて60点以上を合格とする。
実習は出欠をとり、出席状況が卒業試験の採点に反映される。

5. 教員名

耳鼻咽喉科：高橋晴雄、隈上秀高、崎浜教之、高崎賢治、田中藤信、宗英吾
岩永哲、加瀬敬一
非常勤講師：和田 仁、江上徹也、重野浩一郎、吉見龍一郎、神田幸彦
安達朝幸

耳鼻咽喉口腔系授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	1	耳科学	聴器の解剖・生理	耳鼻科・高橋	臨1
			2	聴覚学	聴力検査と難聴の診断	耳鼻科・田中	
4	13	木	1	耳科学	中耳・内耳の疾患	耳鼻科・高崎	臨1
			2		中耳炎の手術	耳鼻科・高橋	
4	20	木	1	耳科学	聴器の先天異常	耳鼻科・高橋	臨1
			2		顔面神経	耳鼻科・加瀬	
4	27	木	1	平衡神経学	めまい総論	非常勤・江上	臨1
			2		めまいの診断、平衡機能検査	非常勤・重野	
5	11	木	1	平衡神経学	めまいの疾患	耳鼻科・隈上	臨1
			2	耳科学	補聴器と人工内耳	非常勤・神田	
5	18	木	1	聴覚学	中耳内耳のメカニクス	非常勤・和田	臨1
			2	鼻科学	鼻・副鼻腔：解剖・生理	耳鼻科・高崎	
5	25	木	1	鼻科学	アレルギー性鼻炎（含花粉症）	非常勤・吉見	臨1
			2		鼻・副鼻腔：疾患	耳鼻科・高崎	
6	1	木	1	口腔・咽頭学	口腔・咽頭：解剖・生理疾患	耳鼻科・宗	臨1
			2		嚥下の生理と障害	非常勤・安達	
6	8	木	1	頭頸部外科学	頭頸部癌	耳鼻科・崎浜	臨1
			2				
6	15	木	1	喉頭学	喉頭：解剖・生理・疾患	耳鼻科・宗	臨1
			2	救急医学	異物・救急（含気管切開術）	耳鼻科・岩永	
6	22	木	1	頭頸部外科学	側頭骨・頭蓋底（1）	耳鼻科・崎浜	臨1
			2		側頭骨・頭蓋底（2）	耳鼻科・隈上	

免疫・アレルギー疾患系

責任者 江口勝美
病態解析・制御学（第一内科）
内線：2800 E-mail:eguchi@net.
nagasaki-u.ac.jp

1. 教育目標・方針

免疫・アレルギー疾患、特にリウマチ・膠原病の病態・診断・治療について講義する。これら疾患群の共通所見、疾患特異的所見および治療について病態を把握しながら学んでほしい。内容は各疾患を講義した後に、これら疾患群の理解に重要な臓器病変についても授業する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義主体（スライドとプリント）

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版者	定価
内科学各論 膠原病学	第一内科リウマチ膠原病グループ		1000 円
膠原病・リウマチ診療	東京女子医科大学附属 膠原病リウマチ痛風センター	MEDICAL VIEW	9500 円

4. 評価法

筆記試験

5. 教員名

第一内科：江口勝美、川上 純、井田弘明
保健学科：折口智樹
第二内科：宮崎正信、迎 寛
皮膚科：竹中 基
非常勤講師：福田孝昭（久留米大学医学部教授）
河部庸次郎（国立病院機構嬉野医療センター）
右田清志（国立病院機構長崎医療センター）

免疫・アレルギー疾患系講義予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	7	金	2	総論1	自己免疫、アレルギー総論	第一内科 井田	臨1
4	14	金	2	総論2	膠原病、アレルギー疾患の主要徴候、臨床検査	非常勤講師 右田	臨1
4	21	金	2	各論1	全身性エリテマトーデス	第一内科 川上	臨1
4	28	金	2	各論2	強皮症、シェーグレン症候群	非常勤講師 河部	臨1
5	12	金	2	各論3	多発性筋炎／皮膚筋炎、混合性結合組織病	第一内科 川上	臨1
5	19	金	2	各論4	関節リウマチの病態	非常勤講師 福田	臨1
5	26	金	2	各論5	関節リウマチの治療、成人発症ステイル病	保健学科 折口	臨1
6	2	金	2	各論6	血清反応陰性脊椎関節症、ベーチェット病	非常勤講師 右田	臨1
6	9	金	2	各論7	血管炎症候群	保健学科 折口	臨1
6	16	金	2	各論8	その他のリウマチ性疾患、類縁疾患	第一内科 井田	臨1
6	23	金	2	皮膚アレルギー	皮膚アレルギー	皮膚科 竹中	臨1
6	30	金	2	リウマチ性疾患の腎病変	リウマチ性疾患と腎	第二内科 宮崎（正）	臨1
7	7	金	2	リウマチ性疾患の肺病変	リウマチ性疾患と肺	第二内科 迎	臨1
7	12	水	3	リウマチ性疾患の治療	リウマチ性疾患の治療	第一内科 井田	臨1
7	14	金	2	リウマチ性疾患の病因	リウマチ性疾患の病因：素因と環境因子	第一内科 川上	臨1

社 会 医 学

責任者 青 柳 潔 公衆衛生学 (公衆衛生学)
内線 : 2232 E-mail:kiyoshi@net.
柴 田 義 貞 原研疫学 (放射線疫学)
内線 : 2381 E-mail:yshibata@net.

1. 教育目標・方針

この科目は衛生学及び公衆衛生学を主体とした社会医学に関する教育を体系化したものである。人間が生物的・社会的存在であるとの理解の上に、その健康擁護 (Health Care) を図るのが社会医学の基本的立場である。

本科目の講義・実習を通じて人々の健康像・疾病像が生活環境や保健医療システムに大きく関わっていることを理解し、地域あるいは職域の保健医療に貢献しうる医師を育成することが教育目的である。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義及び実習を行う。講義は4年前後期に行われる。実習は5年期の臨床実習期間内に離島において行う。

3. 教科書 特に指定しない。必要に応じプリントを配布する。

4. 参考書

書 名	著 者	出 版 社
● 公衆衛生学第3版	竹本泰一郎、齋藤 寛編	講談社サイエンティック
● 臨床疫学	福井次矢 監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1999.
● EBM実践のための必須知識.		
● 厚生指標「国民衛生の動向」	厚生統計協会	

5. 評価法

2/3 (34コマ) の出席は必須とし、残り1/3 (18コマ) に全部出席すれば18点を与える (1コマ1点)。100-18=82満点で、4年後期試験期間に筆答試験を行う。出席点と筆答試験点の合計が60点以上を講義分の合格とする。

6. 教員名

公衆衛生学：青柳潔、高村昇、安部恵代、尾崎 誠

原研疫学：柴田義貞、本田純久

精神病態制御学：中根秀之

感染・分子疫学：中込治、中込とよ子

救急部：長谷敦子

薬剤部：佐々木均

医療情報部：本多正幸

離島・へき地医療学：前田隆浩

非常勤講師：草野洋介、有澤孝吉、神代雅晴、山崎晋一朗、上田厚、和泉喬

社会医学授業予定（4年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	6	木	3	社会医学序論	健康と社会環境、障害と社会	公衆衛生・青柳	臨1
4	13	木	3	社会医学総論	公衆衛生と予防医学	公衆衛生・青柳	臨1
4	20	木	3	社会医学総論	プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション	公衆衛生・青柳	臨1
4	27	木	3	健康保持・増進	健康日本21、健康増進法	公衆衛生・高村	臨1
5	11	木	3	健康保持・増進	生活習慣病と保健	公衆衛生・安部、青柳	臨1
5	18	木	3	保健・医療・福祉	医療法、医療計画・へき地医療	公衆衛生・青柳	臨1
5	25	木	3	地域保健	離島医療	離島・へき地医療学・前田	臨1
6	1	木	3	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉の連携	公衆衛生・青柳	臨1
6	8	木	3	保健・医療・福祉	老人の現状	非常勤・草野	臨1
6	15	木	3	保健・医療・福祉	老人保健・福祉、介護保険	非常勤・草野	臨1
6	22	木	3	疫学	序論、疫学指標	原研疫学・柴田、本田	臨1
6	28	水	3	疫学	標本抽出、研究デザイン、比較の指標	原研疫学・柴田、本田	臨1
6	29	木	3	疫学	Evidence Based Medicine (EBM)	原研疫学・柴田、本田	臨1
7	5	水	3	衛生統計	人口統計	原研疫学・柴田、本田	臨1
7	6	木	3	衛生統計	要因別死亡の状況	原研疫学・柴田、本田	臨1
7	13	木	3	衛生統計	疾病・障害統計	原研疫学・柴田、本田	臨1

社会医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	25	月	1	産業保健	労働衛生行政	公衆衛生・青柳	臨1
			2	産業保健	労災法、労災の疫学	公衆衛生・青柳	
10	2	月	1	産業保健	職業癌、頸肩腕障害、腰痛、VDT	公衆衛生・安部、青柳	臨1
			2	産業保健	人間工学	非常勤・神代	
10	16	月	1	中毒・物理的要因	ガス中毒・酸欠、有機溶剤・化学物質	非常勤・和泉	臨1
			2	中毒・物理的要因	騒音と振動、異常気圧・気温	公衆衛生・安部、青柳	
10	23	月	1	中毒・物理的要因	重金属中毒	公衆衛生・高村	臨1
			2	中毒・物理的要因	薬物中毒	薬剤部・佐々木	
10	30	月	1	中毒・物理的要因	農薬中毒・自然毒	救急部・長谷	臨1
			2	中毒・物理的要因	中毒治療	救急部・長谷	
11	6	月	1	公衆栄養学	国民栄養	非常勤・草野	臨1
			2	公衆栄養学	国民栄養	非常勤・草野	
11	13	月	1	国際保健	国際保健問題	公衆衛生・高村	臨1
			2	国際保健	国際保健協力	公衆衛生・高村	
11	27	月	1	地域保健	母子保健Ⅰ	公衆衛生・高村	臨1
			2	地域保健	母子保健Ⅱ	公衆衛生・高村	
12	4	月	1	地域保健	地域保健法	公衆衛生・安部、青柳	臨1
			2	地域保健	老人保健法	公衆衛生・安部、青柳	
12	11	月	1	診療情報	情報管理	医療情報・本多	臨1
			2	診療情報	プライバシー、診療録	医療情報・本多	

社会医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	12	火	1	地域保健	農村保健Ⅰ	公衆衛生・尾崎、青柳	臨1
			2	地域保健	農村保健Ⅱ	非常勤・上田	
12	18	月	1	生活環境保健	環境保全、公害、廃棄物処理	非常勤・有澤	臨1
			2	生活環境保健	内分泌攪乱物質、大気・上下水道	非常勤・有澤	
			3	地域保健	精神保健	精神科・中根	臨1
			4	地域保健	精神保健	精神科・中根	
12	19	火	1	感染症	感染症法、結核予防法、予防接種法	感染・分子疫学・中込	臨1
			2	感染症	食中毒・食品衛生法・食品安全基本法	感染・分子疫学・中込	
1	9	火	1	地域保健	学校保健	公衆衛生・高村	臨1
			2	保健・医療・福祉	保健・医療・福祉施設・従事者	公衆衛生・安部、青柳	
1	15	月	1	地域保健	長崎県の保健・医療Ⅰ	非常勤・山崎	臨1
			2	地域保健	長崎県の保健・医療Ⅱ	非常勤・山崎	
			3	臨床研究と医療	副作用報告、臨床試験	薬剤部・佐々木	臨1
			4	臨床研究と医療	診療ガイドライン、法令	薬剤部・佐々木	
1	16	火	1	社会保障	社会保障制度	公衆衛生・青柳	臨1
			2	社会保障	医療保険・公費医療・医療経済	公衆衛生・青柳	

皮膚系

責任者 佐藤伸一
皮膚科学（皮膚病態学）
内線：2960 E-mail:s-sato@net.

1. 教育目標・方針

皮膚は生体の最外層を覆う器官であり、内外からの影響を受けて鋭敏に反応し、様々な病変を呈する。それは実際に目で見る事が出来る病変であり、生検も容易に行える点の特異といえる。しかしその一方で、皮膚病変の原因は無数にあり、診断名も煩雑であることが理解されにくい一因であろう。この系では、臨床医に必要な皮膚疾患の概説を行うが、単なる暗記ではなく、皮膚の構造と状態を理解し、病変を見た場合の診断の仕方を、(1)皮疹の見方、(2)病理所見、(3)病因、(4)病態などを把握しながら学んでほしい。

また、「皮膚は内臓の鏡」ともいわれ、思わぬ内臓疾患が判明することもある。皮膚病変の位置づけを全身疾患との関連性の面でも理解してほしい。

2. 授業内容（講義・実習項目）

全20時間の講義は、皮膚科15、形成外科4、病理1からなる。講義は皮膚の解剖、生理、病理、診断に始まり、皮膚科からは各種皮膚疾患の講義を、形成外科より形態異常、熱傷、瘢痕及びケロイド、皮膚潰瘍などの講義を行い、皮膚と内臓病変、治療をもって終了とする。詳細は講義日程を参照のこと。

3. 教科書、参考書等

皮膚科、病理：要点を記載したプリントを配布するが、全てはカバーできないため、参考書はぜひ一冊持ってほしい。

書名	著者	出版社	定価(税別)
標準皮膚科学	荒田次郎、西川武二、瀧川 雅浩 編	医学書院	7,900 円
皮膚病アトラス	西山茂夫 著	文光堂	12,000 円
New皮膚科学	飯塚 一、大塚藤男、宮地良樹 編	南江堂	6,600 円

形成外科：プリント配布予定

書名	著者	出版社	定価
標準形成外科学 第4版	鬼塚卓弥 監修	医学書院	6,800 円
TEXT形成外科 第2版	波利井清紀 監修	南山堂	9,064 円

4. 評価法

講義終了後に筆記試験を行う。各科の時間数に応じて配点を割り当て、総計100点として評価する。60点以上を合格とするが、60点以上であっても各分野での得点が40点に満たない時は不合格となることもある。また、評価には出席率も考慮する。

5. 教員名

皮膚科：佐藤伸一、清水和宏、竹中 基、小川文秀、武石恵美子

形成外科：平野明喜、田中克己、秋田定伯

病理部：安倍邦子

非常勤：藤原作平（大分大）、西本勝太郎（掖済会長崎病院）、鳥山 史（日赤長崎原爆病院）、廣瀬寮二（長崎市立市民病院）、渡辺雅久（大村市立病院）、宿輪哲生（国病長崎医療センター）

皮膚系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	26	火	3	皮膚総論 1	皮膚の構造と機能、皮膚科診断学	皮膚科・佐藤	臨1
			4	皮膚総論 2	皮膚病理組織学	病理部・安倍	
10	3	火	3	形成外科概論、組織移植	概論、植皮・皮弁、その他の組織移植、Z形成	形成外科・平野	臨1
			4	皮膚附属器疾患	毛髪・爪の異常、汗腺性疾患	非常勤・宿輪	
10	10	火	3	湿疹・皮膚炎	薬疹・虫などによる皮膚炎	皮膚科・竹中	臨1
			4	全身と皮膚1	膠原病の皮膚症状(1)	皮膚科・佐藤	
10	17	火	3	物理的皮膚損傷	熱傷の病態と治療	形成外科・田中	臨1
			4	皮膚感染症 1	細菌・真菌による皮膚感染症	非常勤・西本	
10	24	火	3	創傷治癒、瘢痕・ケロイド	創傷治癒、瘢痕・ケロイドと治療	形成外科・秋田	臨1
			4	皮膚良性腫瘍	皮膚良性腫瘍	皮膚科・武石	
10	31	火	3	褥瘡・皮膚潰瘍、皮膚再建外科	褥瘡・皮膚潰瘍、外傷・腫瘍切除後の再建	形成外科・田中	臨1
			4	水疱症、膿疱症	自己免疫水疱症、先天性表皮水疱症	非常勤・藤原	
11	7	火	3	皮膚リンパ腫	肉芽腫性疾患、皮膚リンパ腫	皮膚科・清水	臨1
			4	光線性皮膚障害	光線過敏症	非常勤・渡辺	
11	14	火	3	皮膚悪性腫瘍	皮膚悪性腫瘍（メラノーマを含む）	皮膚科・武石	臨1
			4	母斑、血管腫、色素異常症	母斑・色素異常症	非常勤・廣瀬	
11	28	火	3	皮膚感染症2、全身性の皮膚疾患	ウイルス性皮膚感染症、代謝異常症、紅斑症	皮膚科・小川	臨1
			4	皮膚総論 3	皮膚科治療法	非常勤・鳥山	
12	5	火	3	角化症	炎症性角化症、角化異常症	皮膚科・清水	臨1
			4	全身と皮膚2	膠原病の皮膚症状(2)	皮膚科・佐藤	

精 神 系

責任者 小 澤 寛 樹
精神神経学 (精神病態制御学)
内線：2865 E-mail:ozawa07@net.

1. 教育目標・方針

精神と行動の障害として表現される精神疾患の症候、病態生理、成因とそれに対応する治療とケアについて学ぶ。精神疾患の多くは、その成り立ちに多因子が関与しており、種々の要因によって準備される個体の脆弱性と広義のストレスとの相互作用によって、発症に至るものが多い。従って精神疾患の理解は、分子レベルから、神経系・内分泌系・免疫系・循環系が交錯する脳、個体、家族、社会、文化、生態系などの多次元の病理が個人の精神と行動の障害として現れたものとしてとらえることができる。したがって、精神疾患に対する治療とケアは自ら多次元の多様なものとなる。

精神系の講義を通じて、精神疾患に罹患した人々の内的苦悩と精神疾患の病態と成因、治療・ケアの基本的な理解が得られるようにつとめたい。また、こころと行動の理解を目指す諸科学のめざましい発展の実状の一端にも触れてほしい。

2. 授業内容 (講義・実習項目)

講義・演習

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出 版 社	定 価
標準精神医学	野村総一郎、樋口輝彦	医学書院	6,500円
現代臨床精神医学	大熊輝雄	金原出版	7,500円
精神医学	大月三郎	文光堂	7,200円

4. 評価法

筆記試験 (レポートを併用することもある)

5. 教員名

精神神経科：小澤寛樹、中根秀之、今村 明、伊東 勉

保健学科：太田保之

非常勤講師：岡崎祐士 (三重大学)、斎藤利和 (札幌医科大学)、
高橋克朗 (長崎精神医療センター)、辻村徹 (長崎市民病院)

精神系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員
9	25	月	3	精神医学入門	歴史、主な理論・分野	精神科・小澤
			4	精神疾患のイメージ	主要精神障害（VTRなど）	精神科・小澤
10	2	月	3	精神疾患の分類と診断/精神症候学	分類概念、分類体系、診断基準、治療模擬患者VTR、精神病症状、感情障害症状、神経症症状	精神科・中根
			4	症状評価・検査法	面接法、評価尺度、生理学検査（脳波など）、脳画像検査、心理検査（投影法、非投影法など）	非常勤・辻村
10	16	月	3	統合失調症の病態生理と成因	脳形態、精神生理、心理学、遺伝疫学、分子遺伝学	非常勤・岡崎
			4	統合失調症の疫学と症状、治療	概念史、亜型、経過、診断、薬物療法、精神療法、生活療法、家族療法	精神科・伊東
10	23	月	3	「べてるの家」の活動	ユーザーによる社会的活動	精神科・小澤
			4	感情障害の症候学と疫学	概念史、亜型、経過、診断	精神科・小澤
10	30	月	3	感情障害の病態生理と治療	脳形態、精神生理、心理学、生化学、薬物療法、精神療法	精神科・小澤
			4	神経症性障害の総論と各論	概念史、症候学、分類、診断基準、社会恐怖、解離性障害	精神科・中根
11	6	月	3	災害精神医学	トラウマの概念、PTSDの疫学、介入、治療	保健学科・太田
			4	人格障害、生理機能の障害	人格障害の概念史、分類、診断基準、睡眠障害、摂食障害	精神科・今村
11	13	月	3	精神作用物質性障害	アルコール関連精神障害、急性中毒、依存症候群（モルヒネ、アンフェタミン、大麻など）	非常勤・斎藤
			4	神経症性障害の各論	強迫性障害、パニック障害、全般性不安障害	非常勤・高橋
11	27	月	3	リエゾン・コンサルテーション精神医学	概説、対象疾患、せん妄、身体疾患に伴う精神障害、症状精神病の概説	精神科・小澤
			4	小児・思春期における精神障害	分類概念、分類体系、診断基準、治療	精神科・小澤
12	4	月	3	小児・思春期における精神障害	分類、症候学、IQ、診断基準、特異的治療、ファミリーサポート、ケアシステム、合併症治療	精神科・今村
			4	司法精神医学	精神保健福祉法、触法精神障害、精神鑑定	精神科・今村
12	11	月	3	認知（痴呆）症の症候学、疫学、病態、治療、ケア	症候学、病態、疫学、薬物療法、非薬物療法	精神科・伊東
			4	性心理・性嗜好の障害	分類、症候学、診断基準、治療	精神科・中根
12	21	木	3	精神医学における今日のニューロサイエンス	精神障害のニューロサイエンスの最近の研究から	精神科・小澤
			4	国家試験対策講義	国家試験問題への対応	精神科・小澤

小 児 系

責任者 森内 浩幸
小児科学（小児病態制御学）
内線：2883 E-mail:hiromori@net.

1. 教育目標・方針

小児系講義では、ヒトが胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期を駆け抜けながら刻々と成長発達していく過程における生理と病理を、内科的および外科的な観点から学んでいく。『小児は大人を小さくしたものではない』ことを理解してもらいたい。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義は第4年次後期20回で、小児科13.5回、小児歯科0.5回、形成外科（小児の外表奇形）2回、小児外科4回である。他の系における小児科関連の講義との重複を避けて行う。実習は行わない。

3. 教科書、参考書等

先天奇形症候群アトラス	梶井・黒木・新川 編	南江堂
標準小児外科学	鈴木・横山・岡田 編	医学書院
標準形成外科学	鬼塚・福田 編	医学書院

（注：小児科に関しては、特に指定しない。必要な資料は適宜配布または紹介する。）

4. 評価法

試験は筆記試験（記述式）で、第4年次後期末に行い合否を判定する。

5. 教官名

小児科：森内浩幸、近藤達郎、田川正人、本村克明

外科1：大島雅之

外科2：

形成外科：矢野浩規、安楽邦明

非常勤講師：藤原 卓（歯学部）、福田雅文（みさかえの園）、田代香澄（みさかえの園）、平松公三郎（国立療養所長崎病院）、本山和徳（国立療養所長崎病院）、小柳憲治（長崎県立こども医療福祉センター）

小児系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	26	火	1 2	総論・成長・発達・育児	総論・成長・発達・育児	非常勤・福田	臨1
10	3	火	1 2	新生児	新生児	小児科・田川	臨1
10	10	火	1 2	感染症・免疫	感染症 免疫不全、自己免疫疾患	小児科・森内	臨1
10	17	火	1 2	呼吸器・アレルギー	呼吸器疾患 アレルギー性疾患	非常勤・田代	臨1
10	24	火	1 2	内分泌・代謝・栄養	小児の栄養 内分泌疾患、代謝性疾患	小児科・本村（克）	臨1
10	31	火	1 2	小児心療内科 発達障害 / 療育医療	小児の心身医学的疾患 発達障害 / 療育医療	非常勤・小柳 非常勤・本山 / 非常勤・平松	臨1
11	7	火	1 2	小児形成外科 小児形成外科	手の先天異常と治療 頭蓋顔面の先天異常と治療	形成外科・安楽 形成外科・矢野	臨1
11	14	火	1 2	先天異常・遺伝 先天異常・遺伝 / 小児歯科	先天異常・遺伝 先天異常・遺伝 / 小児歯科	小児科・近藤 小児科・近藤 / 小児歯科・藤原	臨1
11	28	火	1 2	小児外科（1）	小児外科（1）	外科1・大島	臨1
12	5	火	1 2	小児外科（2）	小児外科（2）	外科2・	臨1

感 染 症 系

責任者 中込 治

病態分子疫学(旧衛生学)

内線 : 2222 E-mail: onakagom@net.

1. 教育目標・方針

感染系（責任者：片峰茂教授）で学習した多様な病原体が個体に感染することにより起こる感染症は、日常臨床で遭遇する疾病の中で最多のものの一つである。感染症にはどのような特徴があるか、また、感染症の患者にいかに関わり、いかに的確な診断、治療さらに予防へと結びつけていくかを、多角的な視点から学ぶ。このコースを終了したときに、病原体の多様性や、同様に多様なそれぞれの感染症の臨床像に攪乱された諸君の頭の中に、たとえおぼろげながらではあっても病原微生物学を基礎とする感染症学の骨格が浮かび上がってくるはずである。

講義はいわゆるオムニバス方式で行うが、コース全体としての構成や整合性については、責任者を中心とする主要メンバーでよく検討されたものであり、すべての授業がきわめて適切な教員によってなされることを強調したい。

2. 授業内容（講義・実習項目）

このコースは内容の上では内科学の一部を構成する「感染症学」に相当する学習内容を盛り込んでいる。ただし、次の三点に注意されたい。第一は、全体としての整合性をとりつつ「熱帯医学」の視点がとり入れられていることである。これは、感染症の多くが熱帯地を中心とする途上国に頻発し、海外へのあるいは海外からの旅行者や赴任者が増加の一途をたどっていることにかんがみ、下痢症、マラリア、デング熱などを等閑視して、感染症学が成り立たないからである。加えて、新興感染症のほとんどが熱帯地をその起源としている。第二に、「感染系」すなわち病原微生物学との連関が強く考慮されていることである。感染症学という分野は、いわゆる基礎医学に属する病原微生物学が直接かつ最大限に生かされる臨床医学の分野である。諸君はある感染症について、たとえば、病態生理をより根本から理解しようとするならば、ますます病原体についての基礎知識そして宿主-病原体関係について理解しなければならないことを痛感するであろう。第三は、「感染系」はもとより、臓器別系統講義の他の分野で扱われる感染症は、貴重な授業時間の節約を考え、重要な感染症であっても重複を避け、他では扱わない点に焦点をあてたことである。たとえば、通常髄膜炎は神経系で講義されるので、ここでは熱帯地方における小児の細菌性髄膜炎の問題が強調される。

3. 教科書、参考書等

特に教科書は指定しないが、日本語で書かれた教科書レベルの図書として以下のものを参考書として推薦する。

- 齊藤 厚, 那須勝, 江崎孝行 編 「標準感染症学」 第2版 医学書院
- 平松啓一, 中込治 編 「標準微生物学」 第9版 医学書院 2005
- 河野 茂 編 「感染症のとらえ方」 文光堂
- Mandel, Bennett, Dolin 6th ed 2004 編. Principles and Practice of Infectious Diseases. Churchill Livingstone.

4. 評価法

授業内容を中心に出題する筆記試験により行う。

5. 教員名

(授業順)

病態分子疫学分野 (旧衛生学) 中込治

病態生理制御学分野 (第二内科) 河野茂

附属病院第二内科 宮崎義継

呼吸器病態制御学分野 (第二内科) 東山康仁

感染病態制御学分野 (小児科) 森内浩幸

分子治療研究分野 (原研内科) 塚崎邦弘

感染症予防治療分野 (熱研内科) 有吉紅也

附属病院熱研内科 渡辺浩

熱研病原体分子構造解析分野 森田公一

比較動物医学分野 (動物実験施設) 佐藤浩

呼吸器病態制御学分野 (第二内科) 大野秀明

病態分子疫学 (旧衛生学) 中込とよ子

病態分子疫学分野 (旧衛生学) アハメドカムルディン

感染症系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	29	金	3	感染症と病原体		病態分子疫学・中込	臨1
			4	感染症診療のための基本的アプローチ：感染症の診断法		第二内科・河野	
10	6	金	3	感染症の伝播経路と院内感染対策		第二内科・宮崎	臨1
			4	不明熱と敗血症，SIRS		第二内科・河野	
10	13	金	3	抗菌薬の選択法		第二内科・宮崎	臨1
			4	バイオフィルム感染症		第二内科・東山	
10	20	金	3	感染症の予防：能動免疫と受動免疫		小児科・森内	臨1
			4	現代医療における易感染性宿主と日和見感染症		原研内科・塚崎	
10	27	金	3	熱帯医学と感染症：歴史的背景と現代における使命		熱研内科・有吉	臨1
			4	熱帯でよくみる細菌性腸管感染症の診断と治療：腸チフス，コレラ，赤痢，その他の細菌性下痢症		熱研内科・渡辺	
11	17	金	3	蚊が媒介するウイルス感染症の診断と治療		熱研・森田	臨1
			4	マラリアの診断と治療および予防		熱研内科・有吉	
11	24	金	3	人獣共通感染症		比較動物医学・佐藤	臨1
			4	感染症と危機管理		熱研・森田	
12	1	金	3	抗酸菌感染症の診断と治療		第二内科・大野	臨1
			4	深在性真菌症の診断と治療		第二内科・河野	
12	8	金	3	エイズの概観，HIVのウイルス学、エイズの免疫学		小児科・森内	臨1
			4	エイズの疫学，自然経過，予防		熱研内科・有吉	
12	15	金	3	エイズの臨床		熱研内科・有吉	臨1
			4	エイズの治療		熱研内科・有吉	
12	22	金	3	ウイルス性胃腸炎の診断と治療：ロタウイルス・ノロウイルスなど		病態分子疫学・中込とよ子	臨1
			4	熱帯でよくみる呼吸器感染症と細菌性髄膜炎の診断と治療		病態分子疫学・アハメド	
1	12	金	3	ウイルス感染症の診断と治療		小児科・森内	臨1
			4	性行為感染と母子感染		小児科・森内	
1	19	金	3	旅行医学		熱研内科・渡辺	臨1
			4	演習		病態分子疫学・中込	

法 医 学 系

責任者 中 園 一 郎
社会医学・法医学
内線：2252 E-mail:nakasono@net.

1. 教育目標・方針

法医学とは医学的解明助言を必要とする法律上の案件・事項について、科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的としている。

法医学の講義においては、法医学の目的を達成するために必要な知識の獲得を教育の目標としている。

2. 授業内容（講義・実習項目）

死因論（内因死、外因死）、血液型、物体検査及び死体検案の方法並びに死体検案書の書き方等の講義を行う。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
★学生のための法医学	田中宣幸 他	南山堂	5,300 円
エッセンシャル法医学	高取健彦 他	医歯薬出版	6,000 円

4. 評価法

筆記試験成績に、出席点を併せて評価する。

5. 教員名

法医学：中園一郎、池松和哉、津田亮一

非常勤講師：田中宣幸（産業医科大）、久保真一（徳島大）、木村恒二郎（広島大）

法医学系授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教官	教室
9	28	木	3	法医学概論	法医学の定義・歴史	法医・中園	第2
			4	死の判定と死因	生から死への過程、死の判定、死因、死因論		
10	5	木	3	死体現象（1）	早期死体現象	法医・中園	第2
			4	死体現象（2）	晩期死体現象・特殊死体現象		
10	12	木	3	外因死と内因死	外因死と内因死の定義	法医・中園	第2
			4	損傷（1）	鋭器・鈍器損傷		
10	19	木	3	異常環境下の死	高温による障害・低温による障害	非常勤・田中	第2
			4	窒息死（1）	頸部圧迫による窒息死	法医・中園	
10	26	木	3	窒息死（2）	鼻口閉塞・気道内異物等による窒息死	法医・中園	第2
			4	損傷（2）	頭部の損傷（外景・内景所見と死因）	非常勤・久保	
11	2	木	3	溺死	溺死体と水中死体	法医・中園	第2
			4	内因死	若年者・成人における内因性急死		
11	9	木	3	血液型	赤血球型・血清型・赤血球酵素型・DNA多型	法医・津田	第2
			4	損傷（3）	小児の損傷（特に虐待による損傷）	法医・中園	
11	16	木	3	親子鑑定	親子鑑定の実際	法医・津田	第2
			4	個人識別	個人識別（特に白骨死体）		
11	30	木	3	物体検査	血痕検査・精液（斑）検査	法医・津田	第2
			4	法医中毒学	アルコール・農薬・覚醒剤中毒	非常勤・木村	
12	7	木	3	検案の実際（1）	死亡診断書（死体検案書）の書き方	法医・池松	第2
			4	検案の実際（2）	死亡診断書（死体検案書）の書き方		
12	14	木	3	検案の実際（3）	検案の方法と注意点	法医・池松	第2
			4	検案の実際（4）	検案の方法と注意点		

診 断 学

責任者 大園 恵 幸
総合診療学（総合診療学）
内線 2991 E-mail: oozono@net.

1. 教育目標・方針

診断学では、臨床の第一歩として医師－患者信頼関係を重視した医療面接技能及び基本的臨床技能を修得する。さらに症候から診断への的確なアプローチ法を学ぶとともに患者の立場に立った医療を行える医師となるための基礎を築くことを目標とする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

講義：総論として医療面接技能、基本的身体診察技能とともに内科、外科、臨床検査診断、放射線、内視鏡、症候診断、眼底、鼓膜診察法を教授する。

実習：実習要領に沿って総論実習3回と項目についての各論実習を10回行う。

総論実習では、チューターとなる教官がそれぞれのグループの学生に基本的診察技能を指導する。各論実習では、それぞれの専門医が主要症候から診断法、身体診察法を指導する。

3. 教科書、参考書等

基本的臨床技能マニュアル(長崎大学医学部編)を配付する。それに加えて下記の教科書・参考書が参考となる。

書 名	著 者	出版社	定 価
内科診断学	武内重五郎	南江堂	7,500 円
診察診断学	高久史麿 監修 橋本信也、福井次矢	医学書院	6,000 円
主訴よりみた内科疾患の診断	原 耕平 長瀧重信	医薬ジャーナル社	4,944 円

4. 評価法

筆記試験：講義及び実習内容について筆答試験を行う。

実技試験：共用試験OSCE（客観的臨床技能試験）により実技試験を行い修得度を判定する。

出席：講義・実習とも出席状況を評価に入れる。OSCE結果、筆記試験、出席状況を合わせて合格を決定する。

5. 教員名

第一内科：江口、本村、中尾、浜崎、川上、山崎、井田、宇佐

第二内科：河野、水田、早田、大曲、迎、宮崎、磯本、古巣

第三内科：矢野、瀬戸、芦澤、河野、小出、小宮、中尾

原研内科：朝長、塚崎、宮崎、波多

熱研内科：有吉、渡辺、土橋、森本

第二外科：円城寺、永田、前田、江口、藤田、黒木

放射線科：上谷、磯本、坂本、小川

中央検査部：上平、山田、平潟

耳鼻科：高橋、宗

眼科：北岡

光学医療診療部：牧山

総合診療科：大園、竹島、阿部

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	27	水	2	外科診断学総論	乳腺・リンパ節	二外科 前田	臨1
			3	診断学総論	診断のプロセス 医療面接 基本的身体診察	総診 大園・竹島	臨1
			4				
10	4	水	2	外科診断学総論	直腸・肛門	二外科 藤田	臨1
			3	診断学総論	診断のプロセス 医療面接 基本的身体診察	総診 大園・竹島	臨1
			4				
10	11	水	2	臨床検査医学総論①	血液・血清検査と診断学	中検 山田	臨1
			3	内科診断学総論実習①	実習要領参照	5内科・総診	
			4				
10	18	水	2	臨床検査医学総論②	検査診断学総論	中検 上平	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
10	25	水	2	臨床検査医学総論③	微生物検査と診断学	中検 平潟	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
11	1	水	2	放射線診断学総論①	X線の基礎、放射線防護	放射線科 上谷・小川	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
11	8	水	2	放射線診断学総論②	血管造影・IVR	放射線科 坂本	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
11	15	水	2	放射線診断学総論③	超音波・CT・MRI	放射線科 磯本	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				

診断学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
11	22	水	2	内視鏡診断学総論①	消化器内視鏡診断： 炎症と潰瘍	光学 牧山	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
11	29	水	2	内視鏡診断学総論②	消化器内視鏡診断：腫瘍、 ERCP、EUS	光学 牧山	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
12	6	水	2	内視鏡診断学総論③	気管支鏡検査： 適応と禁忌、前処置と手技	二内科 早田	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
12	12	火	3	症候診断学①	人知かコンピューターか	一内科 江口	臨1
			4	症候診断学②	これからの診断学 インターネットの活用	二内科 河野	臨1
12	13	水	2	眼底の診察法	眼底鏡の使い方	眼科 北岡	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
12	19	火	3	症候診断学③	診断学実践のポイント	三内科 矢野	臨1
			4	症候診断学④	症候から診断までのプロセス	原研内科 朝長	臨1
12	20	水	2	鼓膜の診察法	耳鏡の使い方	耳鼻科 高橋	臨1
			3	診断学各論実習	実習要領参照	5内科・二外科・ 総診	
			4				
1	10	水	2	症候診断学⑤	感染症と症候診断	熱研内科 有吉	臨1
			3	内科診断学総論実習②	実習要領参照	5内科・総診	
			4				
1	17	水	2	OSCE	OSCEについて	総診 大園・竹島	臨1
			3	内科診断学総論実習③	実習要領参照	5内科・総診	
			4				

7. 診断学実習要領

(1) 総論実習

A～Pの16グループに分かれて、基本的身体診察法を学ぶための実習を3回(10/11・1/10・1/17の午後)、下表の指導教官のもとで行う。各実習日の13:00に下表の場所に集合すること。

グループ (履修番号)	指導担当教官	集合場所
A ()	本村 政勝 (一内科)	9階 外来待合室
B ()	早田 宏 (二内科)	12階 外来待合室
C ()	瀬戸 信二 (三内科)	7階 外来待合室
D ()	塚崎 邦弘 (原研内科)	11階 外来待合室
E ()	渡邊 浩 (熱研内科)	12階 外来待合室
F ()	竹島 史直 (総合診療科)	総診 外来待合室
G ()	中尾 一彦 (一内科)	9階 外来待合室
H ()	大曲 勝久 (二内科)	11階 外来待合室
I ()	芦澤 直人 (三内科)	7階 外来待合室
J ()	宮崎 泰司 (原研内科)	11階 外来待合室
K ()	土橋 佳子 (熱研内科)	12階 外来待合室
L ()	川上 純 (一内科)	9階 外来待合室
M ()	水田 陽平 (二内科)	11階 外来待合室
N ()	河野 浩章 (三内科)	7階 外来待合室
O ()	波多 智子 (原研内科)	11階 外来待合室
P ()	森本 浩之輔 (熱研内科)	12階 外来待合室

☆ A・Bは総論実習のグループ編成を示す。以下同様

☆ グループ編成は後日知らせる。

(2) 各論実習

下記の日程に従って、神経、血液、感染症、代謝、内分泌、消化器、呼吸器、循環器、膠原病、腎臓、外科、プライマリケア、疾患についての基本的診断手技の実習を10回行う。

各論実習ローテーション表

実習期日			10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20
実習項目 担当責任教官	実習時間	集合場所	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
神経疾患 (一内科) 本村政勝	13:00~14:30	9階 外来待合室	I・II	I・II	IX・X	IX・X	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV
	14:50~16:20		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV	
膠原病疾患 (一内科) 井田弘明	14:50~16:20	9階 外来待合室		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV
血液疾患 (原研内科) 塚崎邦弘	13:00~14:30	11階 外来待合室	III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI	
感染症疾患 (熱研内科) 渡邊 浩	14:50~16:20	12階 外来待合室	III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI	
代謝疾患 (一内科) 山崎浩則	13:00~14:30	9階 外来待合室		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI
内分泌疾患 (一内科) 宇佐俊郎	14:50~16:20	9階 外来待合室		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII		V・VI
消化器疾患 (一内科) 浜崎圭輔 (二内科) 磯本 一	13:00~14:30	9階/11階 外来待合室	V/VI	V/VI	III/IV	III/IV	I/II	I/II	IX/X	IX/X	VII/VIII	VII/VIII
	14:50~16:20		V/VI		III/IV		I/II		IX/X		VII/VIII	
プライマリケア・ BLS (総合診療科) 竹島史直	14:50~16:20	臨床技能訓練室		V・VI		III・IV		I・II		IX・X		VII・VIII
呼吸器疾患 (二内科) 迎 寛	13:00~14:30	11階 外来待合室	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV	I・II	I・II	IX・X	IX・X
	14:50~16:20		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II		IX・X	
腎臓疾患 (二内科) 古巣 朗	14:50~16:20	8階 外来待合室		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II		IX・X
循環器疾患 (三内科) 瀬戸信二	13:00~14:30	7階 外来待合室	IX・X	IX・X	VII・VIII	VII・VIII	V・VI	V・VI	III・IV	III・IV	I・II	I・II
	14:50~16:20		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II	
外科 (二外科) 円城寺 昭人	14:50~16:20	臨床技能訓練室		IX・X		VII・VIII		V・VI		III・IV		I・II

☆ I・IIは各論実習のグループ編成を示す。以下同様

☆ グループ編成は後日知らせる。

☆ 総論と各論でグループ編成が異なることに注意

☆ BLS: Basic Life Support

放射線医学

責任者 上 谷 雅 孝
放射線医学（放射線診断治療学）
内線：3040

1. 2. 教育目標・方針と授業内容

放射線医学は、放射線診断学、核医学および放射線治療学から成り立っている。放射線診断学には、胸部、消化器、循環器、骨軟部、泌尿器、脳神経などの疾患の診断が含まれ、診断法としては単純X線撮影、種々の造影X線検査、超音波検査、CT、MRIなどがある。これらの中には放射線を用いないものも含まれ、画像診断と呼ばれることも多い。近年の科学技術の進歩に伴って、新しい画像診断法や放射線治療技術が開発され、放射線医学は黄金時代にあるといっても過言ではない。

本総括講義では、各種診断法及び核医学検査の基本的な原理、正常像および代表的な疾患の異常像を学び、また放射線治療の原理と基本的な技術および適応について学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準放射線医学 第6版	高島 力 他編	医学書院	10,300円
必須放射線医学 第3版	高橋睦正 編	南江堂	10,000円
スクワイア放射線診断学	Novelline RA著, 藤原卓哉訳	羊土社	8,400円
新版胸部単純X線診断	林 邦昭、中田 肇 編	秀潤社	4,800円
単純写真読影のためのキーワード201	上谷雅孝 編	メディカルビュー社	9,500円

4. 評価法

4年時学年末試験および卒業試験

5. 教員名

放射線科：上谷雅孝、伊東昌子、磯本一郎、坂本一郎、芦澤和人、林 靖之
森川 実、小川洋二

非常勤講師：福田俊夫（長崎市民病院）、森 宣（大分大学）、越智 誠（長崎北病院）

放射線医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	29	金	2	骨・関節	放射線科・上谷	臨1
10	6	金	2	骨粗鬆症・骨塩定量	放射線科・伊東	臨1
10	13	金	2	乳腺	放射線科・磯本	臨1
10	20	金	2	腹部(1)	放射線科・磯本	臨1
10	27	金	2	腹部(2)	非常勤・福田	臨1
11	10	金	2	血管造影・IVR（1）	非常勤・森	臨1
11	17	金	2	血管造影・IVR（2）	放射線科・坂本	臨1
11	24	金	2	MRI, 脳神経（1）	放射線科・森川	臨1
12	1	金	2	脳神経（2）	非常勤・越智	臨1
12	8	金	2	放射線治療（1）	放射線科・林（靖）	臨1
12	15	金	2	放射線治療（2）	放射線科・林（靖）	臨1
1	9	火	3	胸部（1）	放射線科・芦澤	臨1
1	12	金	2	胸部（2）	放射線科・芦澤	臨1
1	16	火	3	核医学（1）	放射線科・小川	臨1
1	19	金	2	核医学（2）	放射線科・小川	臨1

臨床検査医学

責任者 上 平 憲
臨床検査医学（病態解析・診断学）
内線：3421 E-mail:kamihira@net.

1. 教育目標・方針

- (1) 医療における臨床検査の意義を系統的に理解し、解釈する。
- (2) 検査情報を正しく活用し、適正な医学判断法を習得する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

血液、微生物、生化学、輸血、免疫、遺伝子、生理、病理などの各検査分野ごとに基本的な理論を習得し、得られたデータの解釈過程を学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
医学生のための検査医学	鳥海 他	杏林書院	7,700 円
標準臨床検査医学	猪狩 淳 他 編	医学書院	6,500 円
臨床検査診断学	宮井 潔 編	南江堂	9,800 円
検査値のみかた	中井利昭 編	中外医学社	8,900 円
臨床検査ガイド97'	和田 攻 他 編	文光堂	6,700 円
他、プリント配布予定			

4. 評価法 筆記試験（卒業試験に含める）

5. 教員名

臨床検査医学：上平 憲、山田恭暉、柳原克紀
病理部：林 徳真吉、輸血部：長井一浩
非常勤講師：林原歳久（嬉野温泉病院）

臨床検査医学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教員	教室
9	27	水	1	総論（1）医療と臨床検査	臨床検査医学・上平	臨1
10	4	水	1	総論（2）検査値の解釈原理	臨床検査医学・上平	臨1
10	11	水	1	各論（1）臨床化学総論	臨床検査医学・上平	臨1
10	18	水	1	各論（2）一般・検査血液学	臨床検査医学・上平/一瀬	臨1
10	25	水	1	各論（3）臨床化学各論①	臨床検査医学・林原	臨1
11	1	水	1	各論（4）臨床化学各論②	臨床検査医学・林原	臨1
11	8	水	1	各論（5）免疫血清検査	臨床検査医学・山田	臨1
11	15	水	1	各論（6）臨床遺伝子検査①	臨床検査医学・山田	臨1
11	22	水	1	各論（7）臨床遺伝子検査②	臨床検査医学・山田	臨1
11	29	水	1	各論（8）微生物検査①	臨床検査医学・柳原	臨1
12	6	水	1	各論（9）微生物検査②	臨床検査医学・柳原	臨1
12	13	水	1	各論（10）分子生物学	臨床検査医学・菅原	臨1
12	20	水	1	各論（11）臨床病理	病院病理・林	臨1
1	10	水	1	輸血①	臨床検査医学・長井	臨1
1	17	水	1	輸血②	臨床検査医学・長井	臨1

外科治療学

責任者 兼 松 隆 之
移植・消化器外科学
内線：2920 E-mail:kanematu@net.

1. 教育目標・方針

外科治療学では外科総論、救急医学、臓器移植と人工臓器および麻酔科学について学ぶ。

2. 授業内容（講義）

外科総論においては外科的侵襲と手術患者の病態生理を理解し、基本的手術手技や術前術後管理を中心に学ぶ。救急医学においては救急患者の診断と治療および救急患者に対する処置について学ぶ。臓器移植においては臓器移植の種類と移植免疫、人工臓器においては人工臓器の種類と必要条件および問題点を中心に学ぶ。麻酔科学においては麻酔法、麻酔薬および呼吸循環管理など周術期管理を中心に学ぶ。

3. 教科書、参考書等

書 名	著 者	出版社	定 価
標準外科学 10版	監修：小柳 仁	医学書院	8,925 円
Principles of Surgery, 7th ed.	Schwartz S. I.	McGraw-Hill	19,788 円
Textbook of Surgery, 17th ed	Sabiston D. C	Saunders	17,017 円
TEXT麻酔・蘇生学 2版	澄川耕二、土肥修司編	南山堂	5,500 円

4. 評価法

講義終了後に試験をして評価する。60点以上を合格とする。

5. 教員名

移植・消化器外科：兼松隆之、田島義証、永田康浩、前田茂人、
原口正史、江口 晋、黒木 保、高槻光寿、藤田文彦

腫瘍外科：永安 武、安武 亨、澤井照光、田川 努、大島雅之、中村昭博、七島篤志

麻酔科：澄川耕二、野口隆之（大分大学医学部）、福崎 誠（長崎労災病院）、
富安志郎（長崎市民病院）、原 哲也、趙 成三

手術部：柴田 治

集中治療部：槇田徹次

救急部：長谷敦子、丸川征四郎（兵庫医科大学）

心臓血管外科：江石清行

泌尿器科：錦戸雅春

外科治療学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室	
9	28	木	1	体液の変動と輸液	(1)正常体液分布、(2)侵襲と体液変動、(3)水・電解質異常、(4)酸塩基平衡傷害、(5)輸液療法	腫瘍外科	大島	臨1	
				救急医学(1)	救急医学概論、救急医療システム	救急部	長谷		
				2	麻酔科学(1)	歴史・専門医制度・麻酔科学の領域	麻酔科		澄川
10	5	木	1	小児外科の特徴	(1)小児外科の特徴、(2)新生児・未熟児の特徴、(3)術前・術後の栄養管理	腫瘍外科	大島	臨1	
				2	外科の歴史と外科医の立場	(1)外科の歴史、(2)外科医と法、(3)専門医制度	移植・消化器外科		兼松
				2	麻酔科学(2)	全身麻酔-吸入麻酔法	麻酔科		澄川
10	12	木	1	術前・術後の患者管理(1)	(1)術前の患者管理一般、(2)術前の特殊状態の評価と管理	腫瘍外科	永安	臨1	
				2	救急医学(2)	心肺蘇生法、溺水、脳死判定	救急部		長谷
				2	麻酔科学(3)	全身麻酔-静脈麻酔薬・筋弛緩薬	手術部(麻酔科)		柴田
10	19	木	1	術前・術後の患者管理(2)	(3)術後の患者管理一般、(2)術後合併症とその対策	腫瘍外科	永安	臨1	
				2	老人外科の特徴	(1)老人外科の特徴、(2)手術適応、(3)周術期管理の特徴	移植・消化器外科		原口
				2	麻酔科学(4)	局所麻酔薬・浸潤麻酔・伝達麻酔	手術部(麻酔科)		柴田
10	26	木	1	外科と栄養(1)	(1)外科における栄養管理の意義、(2)栄養アセスメント	腫瘍外科	七島	臨1	
				2	救急医学(3)	救急診察法及び診断、画像診断と治療への応用	救急部		長谷
				2	麻酔科学(5)	脊髄麻酔と硬膜外麻酔	麻酔科		趙
11	2	木	1	外科と栄養(2)	(3)経腸栄養、(2)経静脈栄養	腫瘍外科	七島	臨1	
				2	救急医学(4)	救急初期対応、処置、環境異常、異物、刺咬傷	救急部		長谷
				2	救急医学(5)	外傷(JATEC, PTECを含む)とショック、続発症	救急部		長谷
11	9	木	1	炎症と感染(1)	(1)炎症の概念と病態生理、(2)臨床症状と所見、(3)外科的感染症の起炎菌	腫瘍外科	中村	臨1	
				2	損傷と創傷治癒	(1)機械的損傷、(2)非機械的損傷、(3)創傷の治癒過程、(4)創傷治癒を左右する因子、(5)創傷管理の実際	移植・消化器外科		藤田
				2	麻酔科学(7)	周術期全身管理-循環管理	集中治療部(麻酔科)		榎田
11	16	木	1	炎症と感染(2)	(4)全身感染症と敗血症、(5)外科的特殊感染症、(6)治療	腫瘍外科	中村	臨1	
				2	問診ならびに外科的診察法	(1)病歴、(2)理学的所見	移植・消化器外科		兼松
				2					

外科治療学授業予定（4年後期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員		教室
11	30	木	1	ショック(1)	(1)ショックの概念、(2)ショックの原因と分類、(3)ショックの病態	腫瘍外科	澤井	臨1
				外科と免疫(1)	(1)免疫機構と調節、(2)腫瘍免疫	移植・消化器外科	永田	
			2	麻酔科学(6)	周術期全身管理-呼吸管理	麻酔科	原	
12	7	木	1	ショック(2)	(4)ショックの治療、(5)ショックの合併症とショック臓器	腫瘍外科	澤井	臨1
				外科と免疫(2)	(3)移植免疫、(4)免疫不全と日和見感染	移植・消化器外科	永田	
			2	麻酔科学(9)	集中治療と急性重症病態	非常勤(麻酔科)	野口隆之	
12	14	木	1	基本的外科手術手技	(1)手術器具、(2)基本的手術操作、(3)小外科手術手技	腫瘍外科	安武	臨1
				外科的侵襲と生体反応(1)	(1)神経内分泌系の反応、(2)循環系の反応、(3)代謝系の反応	移植・消化器外科	前田	
			2	救急医学(6)	災害医療(特別講義)	兵庫医科大学救急・災害医学講座	丸川征四郎	
12	21	木	1	外科的侵襲と生体反応(2)	(4)免疫系の反応、(5)血液凝固系の反応、(6)術後の生体反応と回復過程	移植・消化器外科	前田	臨1
				腫瘍(1)	(1)良性腫瘍と悪性腫瘍、(2)発癌メカニズム、(3)悪性腫瘍の病態	移植・消化器外科	黒木	
			2	麻酔科学(10)	ペインクリニック-痛み診療の基礎	麻酔科	澄川	
1	11	木	1	血液凝固異常と輸血	(1)止血機構、(2)止血機構の傷害、(3)輸血の目的、(4)血液製剤の種類と特徴、(5)輸血法、(6)輸血の副作用と合併症	移植・消化器外科	高槻	臨1
				腫瘍(2)	(4)臨床診断と特殊検査、(5)悪性腫瘍の治療、(6)悪性腫瘍の疫学	移植・消化器外科	黒木	
			2	麻酔科学(11)	ペインクリニック-CRPS・腰下肢痛	非常勤(麻酔科)	福崎誠	
			3	救急医学(7)	熱傷、化学損傷、電撃症、各科緊急、感染症、まとめ	救急部	長谷	
			4	移植と人工臓器	泌尿器系の移植と人工臓器	泌尿器科	錦戸雅春	
1	18	木	1	移植と人工臓器	呼吸器系の移植と人工臓器	腫瘍外科	田川	臨1
				移植と人工臓器	消化器系の移植と人工臓器	移植・消化器外科	江口	
			2	麻酔科学(12)	緩和医療	非常勤(麻酔科)	富安志郎	

医学ゼミ

責任者 中園 一郎
社会医学・法医学
内線：2252 E-mail:nakasono@net.

1. 教育目標・方針

必修選択の科目であり、各科目10名以内の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教官との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、2年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務第1係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 「医学ゼミ」の単位認定について

2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

4. 指導教員など

医学部教員（保健学科を除く）

「医学ゼミ」平成18年度開講テーマ一覧

(4年前期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内 容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 生化学	2年・3年・4年前・後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室 カンフランス室	出席、発表内容など
2 公衆衛生学	2年・3年・4年次前期	「論文から学ぶ公衆衛生学」	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ。	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、検討する。	木曜日5校時	公衆衛生学資料室	出席、発表・討論
3 免疫機能制御学分野	2年・3年・4年次前期	論文から学ぶ免疫学	由井克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の講義を受けた3、4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を事前に全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
4 原研内科	3年次前期、4年次前期	血液学のトピックス	塚崎邦弘、宮崎泰司	ウイルス発がん(human T-lymphotropic virus-II)による成人T細胞白血病(リンパ腫:ATLL)と幹細胞療法(骨髄移植)をとりあげて、血液学における基礎研究と臨床研究のつながりを理解する。血液・リンパ系講義を受けた4年生を主な対象とするが、意欲のある3年生も歓迎する。	ATLLと骨髄移植についての最新の知見を主要論文などの抄読会で学ぶ。学生があらかじめ自学した論文内容を事前に全員で議論する。論文などの選択、読み方については、適宜指導する。	金曜日1校時	原研施設3階のコミュニティ室	授業時の態度、およびレポート
5 感染防御	2年・3年・4年前期	ワトソンの「遺伝子の分子生物学」輪読会	松山俊文	分子生物学のバイブルとも言われるワトソンの教科書の精読を通して分子生物学の基本を学ぶ。	輪読形式での発表と解説、そしてこれだけのレベルの教科書にも散在する間違い探しを合わせて行う。	金曜日1校時	感染防御セミナー室	出席と発表の状況
6 精神神経科学	2・3・4次前・後期	シネサイキアトリー	小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人のこころに対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学的問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ各自予習を行って来る。鑑賞後、疑問点を教官とともにグループ討論し、ときにはデベートし、理解を深める	原則的に火曜日午後5時から。	精神神経科カンフランスルーム	レポート(50%)およびディスカッションへの参加状況(50%)
7 循環病態制御外科学(心臓血管外科)	4年前期	ベッドサイドの心臓病学	山近史郎	近年の生理学検査や画像診断の発展に伴い、身体の注意深い観察がおろそかになりがちであるが、適切な問診と身体所見の正確な把握が臨床診断の基礎であることは今も昔も変わらない。とくに循環器疾患の診断では、ベッドサイドの診断がしばしば決め手となり、臨床医としての専門領域でも、心臓血管系の身体所見のとりにかたを理解していることが重要である。本ゼミでは英文テキストを輪読しながら問診や視診・触診・聴診所見のそれぞれ意義を理解する。	Dr. Constant著「Bedside Cardiology」を輪読し討論する。機会あれば実際にベッドサイドで症例を観察する。	金曜日1校時	心臓血管外科医局	出席、発表内容、レポート

(4年後期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内 容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 解剖学第一	2・4年次後期	「老いの科学」「長寿」の科学の最前線	森 望	高齢化社会の中で老人医療の重要性が増してきている。誰も若く生きたい。しかし、ヒトはどうして老いるのか？どのように老いるのか？アルツハイマー病などの加齢性認知障害は食い止められるか？寿命は延ばせるのか？アンチエイジングの術は？本ゼミでは「老化」や「寿命」の科学の最先端の研究の文献を手がかりに、老化の分子背景を理解するとともに、今後の老化研究と高齢者医療のありかたを考える。	老化研究のABC, "Anti-aging", "Biogerontology", "Care of elderly"等のキーワードにそって最近の研究報告やワークショップレポート等を輪読し、高齢者医療やそれに関わる基礎研究について問題点を探り、解決や改善への手だてを考え発表する。基礎老化研究のあり方を理解すると同時に、少子高齢化社会の中でどうしたら健康で豊かな社会を築けるか、自らの頭で考え、自らの言葉で語れるようにする。	金曜日1校時	第一解剖セミナー室	出席、発表内容、質疑応答、レポート
2 生化学	2年・3年・4年前・後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前9時	医学部基礎棟6階生化学教室 カンフランス室	出席、発表内容など
3 病理学第一	2年次後期	老化研究の最近の流れ	下川 功	老化に関する最新の知識を理解し、英文に慣れ、親しむ。	老化に関する最近の研究の英文総説、論文、教科書の輪読。	金曜日1校時	病理学第一 医局図書室	出席と授業への貢献、態度。
4 免疫機能制御学分野	2・3・4年次後期	論文から学ぶ免疫学	由井克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の講義を受けた4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を事前に全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
5 法医学	4年次後期	異状死とは？死者からの伝言	中園 一郎	当教室で検視・解剖した症例について死因の解明や事例の背景などを検討し、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案書、解剖検査記録などを参考に、最終的に症例報告としてまとめる。	金曜日5校時以降	法医学教室 セミナー室	総合的に評価する。
6 感染分子	2・4年次後期	プリオン(病)研究の歴史	片峰 茂	科学情報収集方法、現代生命科学研究手法の理解、英文論文読解力の陶冶、研究へのモチベーション育成	プリオン研究のマイルストーンの論文の読解を中心にプリオン研究の歴史を学習する	金曜日1校時	感染分子集会室	総合評価
7 原研分子	4年次後期	英文で読む臨床症例報告	永山雄二	英文症例報告の抄読会を通じて、臨床英語に慣れ親しみ、かつ総合的な臨床力を身につける。	英文医学雑誌The New England Journal of Medicineに掲載されているCase records of the Massachusetts General Hospitalを用いた抄読会	金曜日1校時、ただし受講生の希望によって変更可	原研棟4階カンフランス室	出席及び発表内容
8 内科学第一	4年次後期	論文から学ぶ消化器病学	中尾一彦	消化器疾患に関する英文医学雑誌を読み、臨床英語に親しみ、かつ消化器疾患の病態生理について理解を深める。	消化器疾患に関する英文医学雑誌の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、全員で議論する。論文の選択、読み方について適宜、指導する。	木曜または金曜日5校時以降(6時～)	9階ゼミナール室	出席、発表内容
9 精神神経科学	2・3・4次前・後期	シネサイキアトリー	小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人のこころに対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学的問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ各自予習を行って来る。鑑賞後、疑問点を教官とともにグループ討論し、ときにはデベートし、理解を深める	原則的に火曜日午後5時から。	精神神経科カンフランスルーム	レポート(50%)およびディスカッションへの参加状況(50%)
10 へき地病院再生支援・教育機構	4年次後期	離島・へき地医療の現在と展望を考える	調 漸	離島・へき地医療の現状を見つめ、そのあるべき姿を探り、その展望を考える	日本の離島・へき地医療の歴史と現状・海外のへき地医療に学ぶことなど	金曜日午後4時以降	へき地病院再生支援・教育機構 会議室(保健管理センター医学部分室のビル1階)	レポート